



南会津高校進路だより

羅針盤 (9月増刊号)

第90号

2018年9月13日

進路指導部・発行

課題探求力養成講座を実施 「アニメによる地域発信がめざす福島の復興と活性化」



9月7日(金)、課題探求力養成講座が、本校体育館で開催された。講師は、株式会社福島ガイナ代表取締役の浅尾芳宣(よしのり)先生。浅尾先生のお話で、福島ガイナが福島復興・町興しのために地域住民・自治体と連携しながら様々な取り組みを積極的に行い、アニメ・ポスター・イベント等がいかに福島の活性化につながっているのかを、生徒たちは大いに実感したようである。ほとんどの本校生徒にとって、アニメと復興の意外な関係性を初めて思い知った大変刺激と

なる講演会となった。また、ふだん忘れがちであり、関心が薄れがちである福島の復興や町興しに対する生徒の問題意識を大いに高める絶好の機会ともなった。この講演会をきっかけに「将来、福島ガイナでアニメ制作に携わりたい」という意欲溢れる生徒が現れる期待も？ちなみに、浅尾先生にお聞きしたところ、毎年、学歴は問わず、新卒採用はあるようだ。当日浅尾先生は、本校講演終了後すぐにドイツへ出発、という超過密スケジュールの中、わざわざ遠方までおいでくださり、本校生徒のために熱いメッセージを残してくださった。浅尾先生の南会津高校に対するご配慮・ご厚意に心より感謝したい。

課題探求力養成講座・生徒アンケートより<一部抜粋>

「ぜひ、南会津のアニメもつくってください！」(1年男子)

◆とても、とても、素晴らしい時間でした。まさに時間の流れを忘れてしまいました。初めて学校での講座に充実感を覚えました。初めて学校に来た一日が楽しいと思えました。やはり、アニメはすごいと心から思いました。アニメは見ているだけで、幸せな気分になることができます。そして復興に役立てようというのはとても良いアイデアだと思いました。本当に今日は学校に来て良かったと思います。今日の講座で、私は改めて声優という夢に向けてがんばろうと思えました。(3年女子)



◆「想い込め一票！」と「重い米一俵！」をかけた選挙ポスターには、感動しました。先日、道の駅で貼ってあるのを発見しました。その時母に「かけている」と言われた時、私はかくし扉を見つけたような、そんな気持ちでした。「がれきに花を咲かせようプロジェクト」は、とても思いつかないアイデアで驚かされました。将来、デザイン系の進路に進みたいと考えている私は、今回の講座を聴けて良かったと感謝しています。(2年女子)

◆私はアニメに興味があるので、今回の講演会はとてもおもしろかったです。正直、会社の名前は知らなかったですが、有名なエヴァンゲリオンなどの作品を作っているのですごくいいなと思いました。福島ガイナが福島の市町村とコラボしているアニメはとてもおもしろかったので、続きを観みたいです。機会があれば、ガイナの作品展に行ってみたいです。楽しい1時間でした。(1年女子)

本末転倒！大学AO入試合格者の退学が一番多いという事実～新聞記事より 「安易なAO入試受験は後悔の元！慎重な出願を」



下記の読売新記事を見てもらいたい。驚くべきことに、大学合格者の中で、退学者の割合が最も高いのがAO入試合格者である。本来であれば、AO入試合格者が一番退学率が低い数字であるべきだろう。なぜなら、AO受験者は、「その大学のアドミッションポリシー・校風・カリキュラム等に深く共鳴し、絶対にそこの大学へ進学したい」という強い意志のもとで早い段階から受験に臨むはず？だからである。理屈から言えば、一番退学者の割合が少ないはずなのだ。ところが、結果は全く逆である。これは何を意味するのか？つまり、かなりのAO入試受験生の中に「早く合格を決めたい」「学科試験のない面接だけなら楽でいい」「ここならある程度有名だし、まあいいか」・・・といった安易な発想の受験生が多いからだろう。また「早く合格が決まりきちんと受験勉強しないまま進学し、学力不足や学習意欲の低下から挫折→退学」「やっぱりAO入試合格大学ではなく、もっと別の難関大学を受け直したい」といった退学者も多いはずだ。ここにAO入試の一つの落とし穴がある。よって、本校生徒にもAO受験生がかなり見られるが、安易な受験校選びになっていないことを信じたい。1・2年生にも、後々、退学→後悔とならないように慎重な判断に基づいた大学受験をしてほしいものだ。無論「苦しい受験勉強から逃れるための推薦・AO入試の受験」は、言語道断である。

※読売新聞

9月6日（木）

付記事より